

土台の集成材化進む

柱、横架材はほぼ横ばい

木造住宅ランキング調査

本紙が実施した09年度の木造住宅ランキング調査で、構造材の使用材料、樹種などについて回答した70社を集計した結果、柱、横架材ともに集成材比率は6割程度で安定しており、集成材化が遅れていた土台でも36・5%と前年度から9・4割も増加したことが分かった。

この調査は、本紙が98年度（02年度までは上期ベース、以降は通期）から実施しているもので今回で12回目。構造材の使用樹種などについて回答を得た70社の分析を行ったもので、このうち20社が年間50棟以下のビルダークラスとして、その傾向も分析している。

構造用集成材を使用する比率のピークは柱が02年の71・9%、横架材が04年の70・2%、土台が同じく30・2%で、近年はややム

木造住宅ランキング調査

単位：%、（ ）内は前年度比

	採用比率	50棟以下住宅会社の採用率
柱	集成材	59.5(+1.4) 27.3(+10.8)
	<Wウッド>	25.8(+1.9) 8.3(-2.5)
	<Rウッド>	16.9() 12.4()
	杉	23.0(+2.0) 38.7(-1.0)
	桧	16.9(-1.4) 34.0(-1.5)
	その他	0.6() -
横架材	集成材	59.0(-2.9) 29.7(+3.1)
	<Rウッド>	32.8(+2.2) 12.4(+4.0)
	<Wウッド>	12.7(+4.0) 5.3(+5.3)
	米松	23.4(-2.8) 33.8(-20.6)
	杉	15.7(+5.3) 31.3(+10.7)
	その他	3.9() 5.2()
土台	集成材	36.5(+9.4) 17.1(-10.6)
	<Rウッド>	11.6() -
	<米ヒバ>	9.1(-8.5) 0.5(-6.6)
	<カラ松>	5.6(-3.9) 3.3(-8.8)
	<桧>	4.9() 4.5()
	桧	32.7(-3.0) 57.8(-4.3)
	米ツガ	13.3(-4.3) 13.3(+6.2)
米ヒバ	7.0(-10.6) 0.6(-0.1)	
その他	10.5() 11.2()	
仕口	プレカット	97.2(-0.8) 92.0(-3.0)
	<金物工法>	25.7(-9.3) 14.5(-5.1)
	クレテック・テックワン	11.2(-1.0) 14.5(-3.7)
	手加工	2.8(+0.8) 8.0(+3.0)

※本紙調べ

柱、梁では大きな変化がなかったが、50棟以下のクラスでも柱に集成材を使用する割合が高まったことが分かった。

土台については、集成材比率が36・5%と急増したが、土台における米ヒバの採用比率

が10・6割も減少、集成土台のラミナとしての米ヒバも減少した。プレカットについては、97・2%とほぼ普及し尽くした感があ

（詳細は11月8日号の「木材建材ウイクリー」に掲載予定）